

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年4月25日			
平成15年度	事業コード		電話	042-769-8338
担当部課名	総務部	職員厚生	課	厚生 係
事務事業名	職員会館維持管理費			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	10 年度
施策名	第 施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

地方公務員法第42条	労働安全衛生規則第44条・第613条・第618条	相模原市職員会館管理運営要綱
------------	--------------------------	----------------

## 3 事務の区分

自治事務

## 4 経費の区分

その他の経費

## 5 事務事業の分類

市単独事業

## 6 受益者負担

あり

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
職員会館は市職員の健康管理、元気回復および生活支援のための拠点施設として位置付けられ、職員の福利厚生を増進するために必要不可欠な施設である。福利厚生を増進させることにより、職員の勤労意欲および公務能率を向上させ、しいては市民サービスの充実を図ることを目的とする。 また、災害時には災害活動に従事する職員の待機・休憩場所としての役割も担っている。	職員 対象数 4,110人(定数)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
職員の勤労意欲と健康の増進を図り、親しみやすい施設となるよう管理・運営をおこなった。 また災害時等の対応にむけた保守・点検を実施した。  総事業費 36,168千円 需用費 10,684千円(電球等消耗品の購入、電気・水道・ガスなどの光熱水費、施設修繕料) 委託料 25,102千円(管理業務委託・清掃業務委託など) 使用料および賃借料 382千円(下水道使用料、玄関マット・植木賃借料)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
成果指標	利用者増減率	該当年度利用者数÷11年度利用者数×100	開館2年目の平成11年度の会館利用者数を基準に、その増減から会館の必要性を判断する	1 2	1 3	1 4	1 5	1 6
				100	94	97	100	100
活動指標	事業費削減率	(11年度事業費 - 該当年度事業費) ÷ 11年度事業費 × 100 + 100	開館2年目の平成11年度の事業費を基準に、その削減割合から会館運営の効率性を判断する	94	104	123	125	125

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決 算	決 算	決 算	予 算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	49,638	44,783	36,167	41,105	41,105
	人員・時間数	0.5人/日	0.1人/日	0.1人/日	0.1人/日	0.1人/日
	人件費	839	839	839	839	839
	その他経費	162,804	162,804	162,804	162,804	162,804
	合計	213,281	208,426	199,810	204,748	204,748
特定財源		2,947	3,019	3,110	2,963	2,963
対象数		4,166	4,151	4,110	4,060	4,060
対象の単位あたり経費		51.2	50.2	48.6	50.4	50.4

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	開館から6年目を迎え、会館の機能、設備などについては、十分周知されている。利用人数はおおむね同程度で推移しているが、今後は利用率の向上などをさらに図っていく必要がある
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 福利厚生を増進させることにより、市職員の勤労意欲・公務能率を向上させ、しいては市民サービスの充実を図ることを目的とするため、市が実施する必要がある
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	福利厚生を増進させるための拠点施設であり、目的達成のために有効な施設である
(4)効率性 評価 A ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 共済組合への賃貸料の負担が大きい、平成24年度に建設費相当額の返済が終了すれば、市の所有施設となる
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	すべての市職員が対象。原則として市または市職員の利用は無料だが、陶芸窯室の利用は有料。また職員の利用に支障のない範囲で、一般への有料貸し出しもしている
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 更なる利用率の向上、および利用者固定化への対応が今後の課題である。予算的には管理運営費がほとんどであり、より効率的な運営により、費用の削減を図っていかねばならない	手段	省エネの徹底による、光熱水費の削減。施設や備品の適正な利用による、修繕費の削減などを図っていく
		削減額	1,000 千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		職員会館を所有する自治体やその施設の規模は様々であるため、単純に他自治体と比較することは難しい。本市においては全国に先駆けて共済組合の長期経理資金をもって共済組合が施設を建設する方法をとっており、建設費などの負担が分散化されている
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	共済組合への賃借料の負担が大きい、平成24年に建設費相当額の償還終了に伴い、市所有の施設となることから、妥当な費用負担である。
<input type="checkbox"/>	廃止	また福利厚生の拠点施設としての役割を十分に果たしていることから、事業としての総合評価も良好であり、今後も継続していくべき事業である。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント